

ニーマニックガード登録方法

1. 登録準備

自分自身の記憶に基づく画像を任意の枚数（2～5枚）用意します。

画像（jpg/bmp）は昔の写真をデジカメ等で再撮影すればOKですし、あるいは思い出に残る品そのものを撮影したもので結構です。また、大写しに撮った写真の中から必要な部分だけ抽出して使用することも可能です。

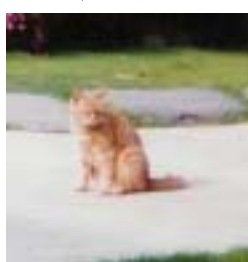
画像選別の仕方

- ・ 昔住んでいた家、町、飼っていたペット
 - ・ 小学生の頃の愛読書、好きだった歌、歌手
 - ・ 将来の願望（海辺の見えるところでのんびりしたい等）
- 等、自分自身にとっては忘れがたく、思わず選んでしまうような画像が最適です。

以下は、画像選別の一例です。

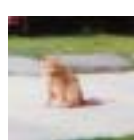


たとえばむかし家の近くの公園で、ペットの猫と撮ったこんな写真があったら



一枚の写真から2枚の画像を抽出し、『むかし、家の近くの公園にペットの猫とよく遊びに行った』という思い出を画像として登録できます。

さらにそのころの愛読書、好きだった歌手の画像を付け加えます。



『むかし、家の近くの公園にペットの猫とよく遊びに行った。そのころの愛読書はライオンと魔女で、好きな歌手はショーケンだった』という自分だけのパシンボルができあがります。

2. 登録作業

モニターガードを起動し、ライブラリーに本人の画像と囲画像を入れて、認証登録用画面を作成します。



上記3枚以外は囲の画像です。(もちろん、すべて自分自身がご用意頂いた画像の中から、特に記憶に残っている画像をパスシンボルとして登録するという方法でもOKです。)

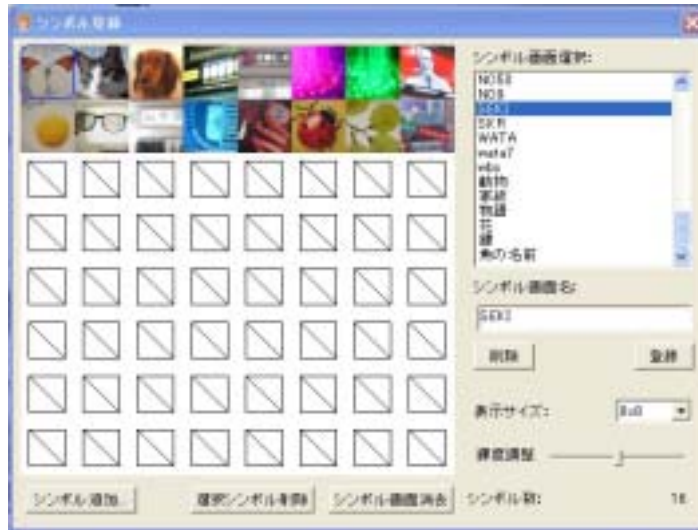
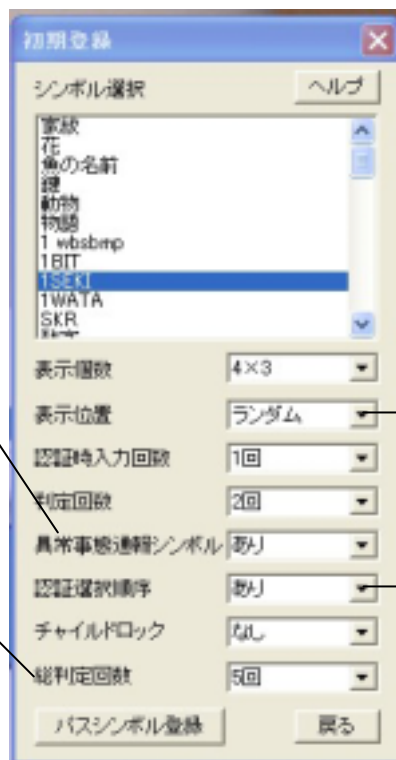


図 1



パスシンボル入力を強要される、共連れされそうな気配がある、など平時と異なる状況を通報するシンボル設定をする、しないを選択します。

本人といえども押し間違えることはあるため、何度かやり直しを許容しますが、そのやり直しの上限定です。5回、10回のいずれかから選択します。

表示位置に関して、起動する度に表示位置を変える(ランダム)、常に固定、のいずれかの選択が可能です。

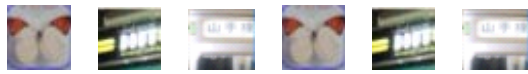
認証シンボル入力時に押す順番指定あり、指定なしから選択可能です。

パスシンボル登録を行います。

図 1 で準備した画像の中からパスシンボル選択、順序指定を行います。

パスシンボルは 2 個以上 8 個以下ならいくつでも選択可能です。

例えば次の 3 枚の画像を 2 サイクル繰り返すパターンをパスシンボルとする場合は



該当する画像をクリックし、最後にインプットを意味する **I** を押します。



確認のため、再度同じ画像、順序を選択し、**Re. I** を押します。




認証用パスシンボル登録の次に異常事態シンボルの登録を行います。

なお、異常事態シンボル登録なしを選択した場合は次の画面は表示されません。





ここではを異常シンボルとします。こちらも2度入力を行って登録完了です。

3 . 補足説明

本登録を行う際、システム管理者には本人の持ち寄った画像と罫画像との判別ができてしまいますが、登録内容は本人自身が行うため、管理者といえども登録内容の把握はできません。なお、登録時にセキュアードディスプレイを利用すれば覗き見防止となり、情報が漏れる心配がありません。

悪意の第三者が本人であると偽り、パスシンボルを忘れてしまったから教えて欲しいと申し出るようなことがあった場合には（本人の記憶に基づくパスシンボルですので、本人が忘れること自体あり得ない事ではありますが）本人と管理者だけが知っている認証画像の中からご本人が用意した画像を抽出して頂けば、本人か、他人かの区別がつき、不正アクセス防止につながります。